

# 民間に任せたら **経費削減** の不思議

「指定管理者制度」により、市は現在30カ所の施設を民間に委託しています。

十二月議会の高木議員の質問に、

「指定管理者制度の導入により、民間事業者としてのノウハウを取り入れた施設運営などを通じ、利用者に対するサービスの向上や維持管理、経費の節減効果も現れており、平成22年度から平成25年度までの4年間で約1億6千万円の経費削減となっている」と

と市は答弁しました。

また、施設自体を民間に移管した「鴨の湯」や「ふいご温泉」などの温泉施設、鴨島保育所については、「民間主体の事業経営に移行し、民間の持つノウハウを存分に発揮され、順調に運営されている」と説明しています。

しかし、これらの答弁は『市の職員がやるのではなく、民間人にお任せしたら経費の節減と市民サービスの向上につながりました』と言っているもので、実際に鴨島公民館は民間委託されてから利用者が三倍になっています。

指定管理者制度など民間活力の導入が成功したのはわかりますが、逆に「いったい、これまで公務員は何をやっていたのか？」と疑問を持たずにはいられません。

川島の堤防にいるシカ 2014年11月4日



## イノシシシカ 捕獲数が激増

### 市内のどこにいても出没の恐れ

イノシシやシカなどが市内のいたるところに出没しています。これまで町中の目撃情報はありましたが、11月と12月に知恵島小学校付近にイノシシが現れました。

イノシシだけでなくシカやサルなどの農作物への被害が深刻なことから、市は捕獲など対策をとっており、捕獲数は年々増える傾向です。捕獲されているのは山間部が中心ですが、川島町の吉野川堤防下の河川敷にシカが棲みついたり【右の写真は市が撮影】善入寺でもイノシシ被害が頻繁にあることから、もはや市内いたる所に出没する恐れがあります。

市は、もしイノシシに出会った場合は、

1. 何もせず、そっとしててください。
2. ゆっくりと後退し、静かにその場を立ち去ってください。
3. 決して威嚇したり追いはらおうとせず、建物や車のなかに入ってください。

と市民に呼びかけています。

市内での捕獲数 ※26年は4月～12月で計算しています。

	24年度	25年度	26年
イノシシ	119頭	133頭	249頭
シカ	72頭	99頭	163頭
猿	56頭	25頭	27頭

## ふるさと納税 今年の2倍

ふるさと納税が全国的にブームになっていますが、吉野川市でも昨年を上回るペースで全国から寄付が寄せられており、十二月議会で1200件の記念品代300万円の補正予算を計上しました。年度末までに寄せられる寄付金総額は2000万円を見込んでいます。

また、寄付された方に贈られる「記念品」に美郷村の「農家民宿」の宿泊券が新たに加わり、さらに四国遍路の「遍路ころがし体験ツアー」が検討されます。

来年度から「ふるさと納税」の制度が拡充され、控除額が増えたり、確定申告しなくても控除される仕組みになるため、ブームに拍車がかかりそうです。

市のホームページには24年度寄付分で行った事業が紹介されています。上の写真



の「川島町『岩の鼻』手すり」の取付や、河川監視カメラに赤外線カメラの導入、幼稚園給食提供事業などに充當されています。寄付額の大きい今年や来年はもっと多くの事業に使えます。